

4 水のある暮らしを守るために

④ 水源の水を守る取り組み



筑後川上流の様子(日田市)

水はどこからきていたかな？



水を育む森林

筑後川などの川をさかのぼっていくとダムがあり、やがて森林にたどり着きます。森林のはたらきによって土にたくわえられた水は、きれいになって少しずつ川へ流れていきます。
水が生まれる場所は「水源」とよばれ、水源である森林を守ることは、水を守ることになるのです。



森林から水が生まれているんだね！
でも、森林って守る必要があるの？



現在の多くの森林は、自然に育った森林(天然林)ではなく、人が植えて育てている森林(人工林)です。人工林は、定期的手入れをしないと、やがて荒れていってしまいます。森林が荒れると、水をたくわえ、土が流れ出るのを防ぐなどのはたらきが弱くなり、川の水がなくなったり、土砂崩れなどの災害が起こりやすくなります。

森林のはたらきを保つためにも、水源地域(筑後川の流域やダムのある地域)では、森林が荒れないよう手入れをして守る必要があります。



好ましい状態の森林

森林を守ることと地球環境

現在、地球の大気中の二酸化炭素の量が増加し、地球の気温が上昇する地球温暖化が問題となっています。

森林には、二酸化炭素を吸収するはたらきがあり、森林を守り、手入れをすることは、地球環境を守ることにもつながります。

森林を守ることが川の水や地球環境を守ることにもつながるんだね。
では、森林を守るために、福岡市はどのようなことに取り組んでいるのかな。



福岡市では、水源地域の森林を守るため、植樹・下草刈り・枝打ち・間伐など、いろいろな手入れを行っています。また、計画的にダムのまわりの森林を買って手入れをすることで、森が荒れるのを防いでいます。
そのほかにも、水源林ボランティアや企業なども協力しあって、森づくりをすすめています。

地球環境やわたしたちが使う水を守るために、みんなで森を守っているんだね。わたしたちにも何かできることはないかな？



① 植樹 新しく木の苗を植えること

② 下草刈り 木が元気に育つように苗の周りの草を刈ること



③ 枝打ち いらぬ枝を切り落とす作業

④ 間伐 成長してこみ合った木を間引く作業



これからも森林を守り続けるには、市民のみなさんと水源地域のみなさんがお互いに理解し、協力しあっていくことが大切です。

そこで福岡市では、市民のみなさんと一緒に水源地域へ行って、森林の手入れをしたり水源地域に住む人たちと交流を深める行事を行っています。みなさんもぜひ参加してください。



枝打ちの様子(子ども水たんけん隊！)

いつも森林を守ってくれている水源地域の人たちには、感謝の気持ちを忘れないようにしないとイケないね！



(ねらい) 水の旅(P8~9)・森林のはたらき(P12)をもう一度確認し、水源の水を守るために、森林を守り育てて行く必要があることを気づかせてください。

(解説) ●水源地域では、林材価格の低迷や過疎化などにより林業従事者が減少しているため、森林を管理する担い手が不足し、手入れの行き届いた森林を維持することが難しくなっています。

(ねらい) これからも水を安定的に供給していくには、森林を守り、水を育てている水源地域との相互理解を深めることが必要不可欠であることを気づかせてください。

(解説) ●水道局では、水源かん養機能の向上、乱開発や不法投棄などによる水質汚濁の防止のため、水源かん養林として計画的に山林や原野を取得しています。
●水源林ボランティアとは、水源地域で下草刈りや間伐などの活動を行っている市民のことで、
●企業などが社会貢献のために森林保全活動を行う場合、水道局が所有する市内の水源かん養林を活動の場として提供しています。